学校番号	413

平成 31 年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	書道Ⅰ（光村出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

小中学校の書写書道とちがって、深く書道の歴史をさぐり、3000 年の伝統に根ざした書道芸術を学びます。一口に書道といっても様々な表現があり、漢字仮名交じり、漢字、仮名、篆刻、現代詩のすべてを学びます。

2　学習の到達目標

書道をすることで、生涯　書を愛好する心を育て、書写能力の向上を図り、より豊かな表現ができるよう作品制作技術を身につけ書道の理解を深めていく。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、　基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート 提出作品	観察 レポート 提出作品	観察 レポート 提出作品	観察 レポート 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	書体の変遷	中国唐時代の完成された字形の美を臨書して味わう。	○		○		a:歴史の深さを理解する。 b:基礎的な能力を生かして表現を工夫している c:技術を学ぶ d:様々な表現に対し工夫している	・作品提出 ・観察
	書体の変遷	行書体の学習に入ってゆき、流れの美しさを味わう。		○		○	a:行書体の基本的な用筆を理解し、工夫している b:行書の特徴を理解する。 c:行書のやわらかさを表現する d:歴史的意味を理解する。	・作品提出 ・観察 ・レポート
2学期	篆刻	書道作品へ押す印を自分で布字して刻してゆく		○	○		a:緻密な美しさを考える b:篆刻における分間布白を理解し表現を工夫している c:印刀をうまく使う d:様々な表現に対し工夫をしている	・印影提出 ・観察 ・レポート
	うちわ・カレンダー・絵手紙	自己表現として様々な素材を用いて自由な表現を試みる (漢字仮名交じり)	○		○		a:身近なものへの表現方法 b:美を工夫して試みる c:調和する表現をする d:柔軟な表現をする	・作品提出 ・観察 ・レポート
3学期	仮名作品	日本の古典を研究して１年のしめくくりとする	○			○	a:日本書道の歴史を知る b:基礎的な能力を生かして表現を工夫している c:平仮名の単純化された筆使いを身につけ表現している d:仮名表現を理解する	・作品提出 ・観察 ・レポート

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することになるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。